

# 学域横断的プロジェクト入門《2024》

## #6 グループワーク5：リサーチプロポーザル3

荻谷 千尋・田中 千晶・中野 正俊

Wed, 24, Jul, 2024

### I. 前回の振り返り

- 前回の「授業の感想」（別紙参照）

### II. キーワードとタイトル（日本語）

#### 1. キーワード

- 文字通り、論文を解く鍵となる言葉
- 通常、3-5 words
- キーワードになりうるもの
  - 重要な概念；方法（どのように見るか）；視点（どこから見るか）；対象（地域や事例）
- できるだけ重複しないキーワードを選ぶ
  - 類似の語彙を並べると、論文が「平板化」する
    - 例：少子化；人口減少＝ほぼ意味が同じ
- （他の論文との）差別化を図れるキーワードを選ぶ

#### 2. タイトル

- 選択した3-5のキーワードをうまく組み合わせ、読者に魅力的な、なおかつ、内容がよくわかるタイトルをつくる
- 本タイトルだけでなく、サブタイトルを工夫する
  - 本タイトル：抽象度が高い
  - サブタイトル：具体的
  - タイトルとサブタイトルの間は、二倍ダッシュ（——）もしくは、コロン（：）

#### Warning

～（波線；波ダッシュ）は使わない

#### (1) 良い例

- 伊藤修一郎「自治体発の政策革新：景観条例から景観法へ」
- 伊藤正次「人口減少社会の自治体間連携：三大都市圏への展開に向けて」
- 河野勝「国際貢献としての環境外交：グリーン・エイド・プランの国内政策過程」
- 林嶺那「東京都における人事管理の研究：稲継モデルを手掛かりとして」
- 牧原出「政策としての「コミュニティ」支援：『仙台市コミュニティビジョン』を素材に」

#### (2) 悪い例

- 現代日本の少子高齢化の現状と課題
- 仮想通貨とは何か
  - → キーワードが一つしかない（少子高齢化；仮想通貨）
    - 現状と課題は、キーワードではない
    - 疑問文のタイトルもOKだが、サブタイトルを具体的なものにすること

- → 漠然としていて、論文を読むまで何を書いてあるのかわからない（推測さえできない）

### III. キーワードとタイトル（英語）

#### 1. キーワード

- 和英辞書を引くだけでは専門用語にたどり着けない可能性がある
  - Google Scholar (<https://scholar.google.com>) などを使い、海外で実際に専門用語として、使用されているかどうかを確かめること

#### 2. タイトル

- 直訳しない＝意識してもよい
  - キーワードをもとに、新たに考えた方がいい（英語らしいタイトルを付けられる）
- 英語のタイトル
  1. 基本的に単語を並べただけの簡素なものが多い
    - 10から20 words程度
    - キーワードの並列
      - 例：A B, and C
    - キーワードを前置詞でつなぐ
      - A on B for C
        - 日本語の「の」は英語では機能的に言い換えられることがあるので、ofの多様には注意すること
  2. 疑問文（疑問詞）を使ったタイトル
    - 使ってもよい
      - 例：What Went Wrong and Why?: Nationalism versus Democracy in Eastern and Western Europe
      - 例：How to Hide an Empire: A Short History of the Greater United States
  3. 動名詞から始まるタイトル
    - 使ってもよい
      - 例：Taming the Leviathan: The Reception of the Political and Religious Ideas of Thomas Hobbes in England, 1640-1700
  4. 関係代名詞を使ったタイトル
    - あまり一般的ではないが、使ってもよい
    - 前置詞や分詞を使う方が多い
- 英語タイトルの表記
  - タイトルとサブタイトルは:（コロン）でわかる
    - ハイフンは使わない
  - 各単語の頭文字は大文字にする（上の例を参照して下さい）
    - ただし、前置詞は小文字にする

#### 3. 日本語特有の概念の英訳

- ローマ字表記と英訳を併記すること
- 直訳では意味が通じない概念があるの注意すること
  - あくまで英語として（海外の人に）わかってもらえることが大切です！

- 例：地方創生
  - local creation ?
  - 政府の公式： the Promotion of Overcoming Population Decline and Vitalizing Local Economy in Japan
  - インターネットサイト：regional revitalization
    - 地域活性化と地方創生を差別化できないという問題をはらむ
      - 人口減少問題への対応策というニュアンスが出せない（日本語にも出てはいるが・・・）
- 和英辞書よりはインターネットの方がいい英訳が出てくることが多い

## IV. 学術英語

### 1. 学術英語：フレーズバンク

#### (1) Academic Phrasebank (University of Manchester)

- リンク

#### (2) Academic Phrasebankの日本語訳あり

- ジョン・モーリー (2022) 『アカデミック・フレーズバンク：そのまま使える！構文200・文例1900』, 講談社.

### 2. 自然な英文表現

#### (1) 著者を主語とする文章を混ぜる

- This research will examine...
- This paper seeks to explain...
- The authors find...
- ※ 日本語も「この研究が検証しようとするのは」とした方が読みやすい（主語と実質的な述語を近づける）

#### (2) 無生物主語の方が自然な表現

〔原文〕 Cheap vaccines could prevent millions of deaths from cervical cancer

〔直訳〕 安価なワクチンが、子宮頸がんによる数百万人の死亡を防げるかもしれない

〔通常の訳〕 安価なワクチンによって、子宮頸がんによる数百万人の死亡を防げられるかもしれない

- 出典：The Economist, Cheap vaccines could prevent millions of deaths from cervical cancer

#### (3) 挿入句を入れた方が自然な表現

- カンマやダッシュ（関係代名詞も可）

〔原文〕 But in 2020, 14 years after the advent of a jab that prevents almost all cases, cervical cancer still killed 342,000 women.

〔直訳〕 しかし、2020年——子宮頸がんのほとんどを予防できる予防接種が登場して14年後にあたる——においても、子宮頸がんは依然、34万2000人もの助成を殺している。

〔通常の訳〕 子宮頸がんをほとんどを予防できる予防接種が登場して14年後の2020年においても、その死者は依然、34万2000人に上る。

- 出典：The Economist, Cheap vaccines could prevent millions of deaths from cervical cancer

#### (4)能動態の方が自然な表現

- 特に研究では、受動態は主体が不明瞭になる、持って回った表現になるなどの理由で、抑制的に使うことが推奨されている

### 3. 英文アブストラクト

#### Natureのアブストラクトを例に

- 出典：Nature投稿案内

### V. グループワーク

- あらためて、キーワードを考え、次いで、タイトルを考えてみよう
- ドラフトが返却された場合は、フィードバックコメントとともに、ループバックにも注意して下さい

### VI. 次回までの宿題

#### 1.授業の感想

##### 回答先と締め切り

- 回答先：Google Forms
- 締め切り：2024年7月28日（日）23時59分

#### 2. リーディングアサインメント（予習）

クリス・アンダーソン『TED TALKS：スーパープレゼンを学ぶTED公式ガイド』（日経BP、2016年）

- 「スルーライン」（50-68ページ）

1. 重要だと思った箇所、あるいは、面白いと思った箇所、疑問に思っていた点が解決した箇所などを挙げて下さい
2. 上記の理由を教えてください（150-200字程度）

##### Note | 提出先と締め切り

- 提出先：Google Forms
- 締め切り：2024年7月28日（日）23時59分

### 引用文献

John Morley 「Academic phrasebank」. Available at: <https://www.phrasebank.manchester.ac.uk>.

モーリージョン (2022) 『アカデミック・フレーズバンク：そのまま使える！構文200・文例1900』, 講談社.